

トークセッション Vol.3

2012年8月8日

圓融寺にて
夜8時開談

『お
せ

つ

か

い

上

等』

今回のテーマ
「シンプルに生きる」



アートセラピスト: 志美津 民綱



僧侶: 阿 純章

僧職系男子と
肉食系アートセラピストが
現代社会を元気にする!!

圓融寺 <http://www.enyuu-ji.com/>

八時だよ圓融寺集了ー
八時だよ圓融寺集了ー

今回のテーマ：「シンプルに生きる」

日時：2012年8月8日（水曜日）夜8時開談
参加者の皆さんを含めてビール片手にフリートークもあります。

自由解散（終了時間は22時30分です）

会場：圓融寺 旧庫裏(釈迦堂に向かって右側の建物です)

<http://www.enyuu-ji.com/>

費用：浄財(カンパ) ※ビール(1缶)とおつまみ代は別途料金(500円)

僧侶：プロフィール

阿 純章 (おか じゅんしょう・〈俗名〉すみあき)

1969年 東京生まれ

小学校に入る前、お寺の住職である父が私の前に地球儀を持ってきて、指をさしながらこう言った。

「この辺が仏教の国、この辺がキリスト教の国、この辺がイスラム教の国。君は今、仏教の国にいるけど、世界はまだまだ広いね」

気がつくといはキリスト教系の小学校に入学し、お堂でお経を読むかわりに礼拝で讃美歌を歌い、日曜日には教会に通う日々。愛読書はもちろん聖書。

高校卒業後、早稲田大学第一文学部に入学。東洋哲学科を専攻し、アジアの文化と思想の奥深さに驚嘆。特に日本の文化に大きな影響を及ぼした中国仏教に関心を持つ。ちょっとだけかじるつもりが見事にハマリ、同大学院に進学。20代はほぼ引き籠りのように書物を読み漁る。博士課程期間に北京大学に国費留学。中国の仏教遺跡巡りにも魅せられ、勝手に東洋のインディー・ジョーンズを自称。

帰国後、圓融寺副住職に就任。また早稲田大学や専修大学などで仏教漢文や現代中国語の講師を務める。研究活動を続ける一方で、仏教の生き方が今まさに社会で求められていると強く感じ、「知識だけの仏教」ではなく「体験する仏教」を、「葬式だけの寺」ではなく「生きた仏教を伝えるお寺を模索し、「気づき」と「出会い」をテーマに、坐禅会をはじめ、各種セミナー、ライブ、演劇、婚活イベントなど、多岐にわたるユニークなイベントを開催。

付属の幼稚園では園長として子どもたちと楽しい日々を過ごし、子どもからお年寄りまで楽しく集える社会に開かれたお寺づくりを目指している。



アートセラピスト：プロフィール

志美津 民綱 (しみづ たみつな)

1974年 東京生まれ

14歳で単身、英国留学。

16歳から昼間は高校に通い、夜デザインの専門学校に通う。(以降、昼と夜の顔を使い分けて生活?)

この頃から海外巡業を始める。芸術の島バリ島では自転車で周島しながら木彫修行。古代遺跡の国エジプトではピラミッドの頂上から眺める夜景に感動し、ヒエログラフと天文学の研究。

世界中の人々と出会えたニューヨークのアートカレッジ時代にアートセラピーを学ぶ。

帰国後、展覧会/ストリートパフォーマンスと精力的に活動。美術学校の講師を勤め、画壇の扉を開けるも、狭すぎる環境にエスケープ。

2000年ミヅマアートギャラリーにて 『初代 民綱』 襲名式

2001年ヒューマンコンサルティング専門のスタジオ ArtSpace DragonFly をオープン。

“感動は人を美しくする”をテーマに想造力を通じて、個人の心身のバランスを整え自由にするパーソナルサポートをしています。

2012年現在、3児の父として妻と共に奮闘中。

※注 サポートの基本は、それを受けたいという、クライアント側の強い意志が前提となります。宗教/医療行為ではありません。